

各 位

上場会社名 **アンリツ株式会社**
 代表者 代表取締役 グループCEO 橋本 裕一
 (コード番号 6754 東証第一部)
 問合せ先責任者 取締役 常務執行役員 CFO 窪田 顕文
 (TEL 046 - 296 - 6507)

2019年3月期 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2018年10月31日開催の取締役会において、2018年4月26日に開示した2019年3月期の業績予想を次のとおり修正することとしましたのでお知らせいたします。

1. 2019年3月期通期連結業績予想数値の修正 (IFRS・2018年4月1日～2019年3月31日)

	売上収益 (百万円)	営業利益 (百万円)	税引前利益 (百万円)	当期利益 (百万円)	親会社の所有者に 帰属する当期利益 (百万円)	基本的1株当たり 当期利益 (円)
前回発表予想 (A) (2018年4月26日 発表)	92,000	6,600	6,600	5,000	5,000	36.40
今回修正予想 (B)	92,000	7,000	7,000	5,500	5,500	40.03
増減額 (B-A)	—	400	400	500	500	—
増減率 (%)	—	6.1	6.1	10.0	10.0	—
(参考) 前期実績 (2018年3月期)	85,967	4,912	4,602	2,898	2,880	20.97

(参考) 2019年3月期 期初想定為替レート：1米ドル=105円
 下期想定為替レート：1米ドル=105円

2. 修正の理由

米中貿易戦争の深刻化と世界経済への悪影響に対する懸念が強まるなど、不透明な事業環境にありますが、売上収益については年初発表予想の達成に努める所存です。利益面については、当第2四半期連結累計期間までの実績を踏まえ、計測事業における5G向け開発投資の上積み等による費用増加も織り込み、通期の営業利益、税引前利益、当期利益及び親会社の所有者に帰属する当期利益を修正するものです。また、各事業セグメントの営業利益には、第1四半期連結会計期間から実施している本社管理費等の配分方法の変更を反映させております。

なお、配当につきましては、期初計画どおり1株当たり年間17.00円を予定しております。

(参考)

セグメント別売上収益の予想 (2019年3月期通期連結)

(単位:百万円)

	前回発表予想 (A) (2018年4月26日発表)	今回修正予想 (B)	増減額 (B-A)	増減率 (%)	前期実績
売上収益	92,000	92,000	-	-	85,967
計測	60,000	60,000	-	-	54,433
PQA	23,500	23,500	-	-	22,549
その他	8,500	8,500	-	-	8,984

セグメント別営業利益の予想 (2019年3月期通期連結)

(単位:百万円)

	前回発表予想 (A) (2018年4月26日発表)	今回修正予想 (B)	増減額 (B-A)	増減率 (%)	前期実績
営業利益	6,600	7,000	400	6.1	4,912
計測	3,500	5,000	1,500	42.9	2,147
PQA	2,000	2,000	-	-	1,969
その他	1,100	700	△1,100	△100.0	1,458
調整額		△700			△663

(注)前回発表予想の「その他」には、セグメント情報における「その他」と「調整額」を合わせて表示しております。

地域別売上収益の予想 (2019年3月期通期連結)

(単位:百万円)

	前回発表予想 (A) (2018年4月26日発表)	今回修正予想 (B)	増減額 (B-A)	増減率 (%)	前期実績
売上収益	92,000	92,000	-	-	85,967
日本	31,500	31,500	-	-	29,753
海外	60,500	60,500	-	-	56,213
米州	20,000	21,500	1,500	7.5	17,419
EMEA	13,000	11,500	△1,500	△11.5	12,781
アジア他	27,500	27,500	-	-	26,012

(注)EMEA (Europe, Middle East and Africa) : 欧州・中近東・アフリカ地域

(注意事項)

本発表資料に記載されている、アンリツの現在の計画、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しです。これらの記述は、現在入手可能な情報による当社経営陣の仮定や判断に基づくものであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。実際の業績は、さまざまな要因により、これら見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おください。また、法令で求められている場合を除き、アンリツは、あらたな情報、将来の事象により、将来の見通しを修正して公表する義務を負うものではありません。

実際の業績に影響を与える重要な要因は、アンリツの事業領域を取り巻く日本、米州、欧州、アジア等の経済情勢、アンリツの製品、サービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、激しい競争にさらされた市場のなかでアンリツが引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを提供できる能力、為替レートなどです。ただし、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。